

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)フローレンス東雲2丁目 新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)							
スコアシート 実施設計段階												
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
					評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									2.7			
Q1 室内環境						0.40		-	3.0			
1 音環境					2.0	0.15	3.3	1.00	3.1			
1.1 騒音			D-56 △LL(Ⅱ)-3 △LH(Ⅱ)-2		3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音					1.0	0.50	3.7	0.50				
1 開口部遮音性能					1.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能					-	-	4.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	4.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	4.0	0.20				
1.3 吸音					1.0	-	1.0	-				
2 温熱環境					1.0	0.35	3.0	1.00	2.6			
2.1 室温制御			住宅性能評価基準「5-1断熱等性能等級」等級3		1.0	1.00	3.0	1.00				
1 室温					-	-	-	-				
2 外皮性能					1.0	1.00	3.0	1.00				
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-				
2.2 湿度制御					-	-	-	-				
2.3 空調方式					-	-	-	-				
3 光・視環境					2.3	0.25	3.5	1.00	3.3			
3.1 昼光利用			2.0%以上		1.8	0.30	4.0	0.50				
1 昼光率					1.0	0.60	5.0	0.50				
2 方位別開口					-	-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策					2.0	0.30	3.0	0.50				
1 昼光制御					2.0	1.00	3.0	1.00				
3.3 照度					3.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-				
4 空気質環境							2.6	0.25		3.6	1.00	3.4
4.1 発生源対策					建築材料(F☆☆☆☆)をほぼ全面に採用		3.0	0.60		4.0	0.63	
1 化学汚染物質			3.0	1.00			4.0	1.00				
2 アスベスト対策			-	-			-	-				
4.2 換気			2.0	0.40			3.0	0.38				
1 換気量			1.0	0.50			3.0	0.33				
2 自然換気性能			-	-			3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50			3.0	0.33				
4.3 運用管理			-	-			-	-				
1 CO ₂ の監視			-	-			-	-				
2 喫煙の制御			-	-			-	-				
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.7			
1 機能性					1.3	0.40	2.6	1.00	2.3			
1.1 機能性・使いやすさ					1.0	0.40	3.0	0.60				
1 広さ・収納性					-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応					-	-	3.0	1.00				
3 バリアフリー計画					1.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40				
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-				
3 内装計画					1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理					2.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計					2.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50	-	-						
3 衛生管理業務			-	-	-	-						
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0			
2.1 耐震・免震			住宅性能評価基準「劣化対策等級」等級3 磁器質タイル		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性					3.0	0.80	-	-				
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数					3.8	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数					5.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					5.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-				

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.6	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	階高2,910	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
				-	-	3.0	0.50	
	3.2 荷重のゆとり			2.6	1.00	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.20	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.10	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		1.0	0.20	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		-	-	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8	
1 建物外皮の熱負荷抑制			住宅性能評価基準「5-1断熱等性能等級」等級3	3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 — 住宅(専有部) 0.95	4.6	0.50	-	-	4.6
集合住宅以外の評価(3a.3b)				-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)			H4年基準に適合	4.6	1.00	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水タイプの水栓採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			—	2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が少ない	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-	
2 污水处理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			自転車置場、駐車場の確保	4.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				2.3	0.40	-	-	
1 風害の抑制				2.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			照明等なし	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	